

第1回薬液注入工法の設計・施工法および試験法に関する研究委員会議事録

日 時：2012年7月2日 15:00～17:00

場 所：地盤工学会 地下会議室

出席者：

委員長 末政直晃（東京都市大学）

委員 赤木寛一（早稲田大学），石井裕泰（大成建設），稲川雄宣（大林組），今井敬介（グラウト工業），江藤政継（日特建設），大野康年（東亜建設工業），岡田和成（横井代理出席：日本基礎技術），小山忠雄（地盤注入開発機構），佐々木隆光（強化土エンジニアリング），澤田亮（鉄道総合研究所），新坂孝志（三信建設工業），高田徹（設計室ソイル），利田靖治（東曹産業），中嶋陽一（ケミカルグラウト），羽田哲也（ライト工業），水野健太（若築建設），本橋俊之（大阪防水建設社），安井利彰（前田建設工業），鎗田哲也（鹿島建設）

以上20名

配布資料：

- 1-1 準備会議事録
- 1-2 一斉試験WG議事録
- 1-3 一軸圧縮試験用供試体作製資料
- 1-4 予備試験結果
- 1-5 体積変化測定方法
- 1-6 研究委員会テーマ

議 事：

1. 前回議事録の確認（資料1-1）

準備会議事録が報告され確認を行なった。

2. 耐久性試験について（資料1-2～1-4）

2.1 供試体の作製方法および予備試験結果

一軸圧縮試験用の供試体作製手順の説明と、予備試験の結果が報告された。報告内容について、以下のディスカッションを行なった。

- ① 空中落下装置の概略（構造、精度）→次回までに取り纏める
- ② 注入速度について→今後観察を行う
- ③ 促進試験などの他の試験について→検討する
- ④ 飽和度について→次回までに取り纏める

2.2 体積変化・シリカ溶脱量測定について（資料2-5）

体積変化の測定方法とシリカ溶脱量の測定方法について配付資料を基に以下のディスカッションを行なった。

- ① 体積変化を測定する意図→シリカの溶脱に伴わない体積変化（シネリシス）の観察
- ② 使用する養生水→イオン交換水
- ③ シリカ分析方法→ICP-AESと蛍光X線分析を検討中であり現在、同一サンプルによる試験を実施中

3. 研究委員会における活動方針（研究テーマ）

研究委員会におけるテーマについてヒヤリングを行なった結果（資料 1-6）を基に研究テーマについてディスカッションを行なった。その結果、下記に示すとおり大分類（WG）を行い、各項目の WG リーダーを決定した。

なお、今後の予定は①WG リーダー：活動内容の詳細を作成し、幹事に提出する。②幹事：各 WG リーダーから頂いた資料を委員会メンバーに送信する③委員会メンバー：参加したい WG を幹事に連絡する。また追加テーマがある場合は WG リーダーと幹事に連絡する。

WG	リーダー	テーマ
WG1-改良設計	安井委員	① 改良土の特性を考慮した設計 ② 構造物に応じた改良範囲・強度の設定方法の検討
WG2-注入設計	大野委員	① 液状化対策を目的とした場合の注入率と改良率の考え方 ② 適用地盤の範囲に関する検討
WG3-施工	林委員	① 事後調査にて実施するサンプリング手法や品質確認方法の検討（非破壊試験・三軸試験・サンプリング手法） ② 注入時間とゲルタイムの関係
WG4-試験法	佐々木委員	① 土質試験（JIS・JGS）に記載されていない試験法の実態把握と試験法の確立 ② 促進試験（水入替え・温度）の検討
WG5-沈下修正	高田委員	① 沈下修正設計 ② 沈下修正施工管理
WG6-用語の定義他	石井委員	① 用語の定義

4. 次回

8月27日 15:00～地盤工学会にて開催予定

以上